

認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎

2019 年度(平成 31 年度) 事業報告(案)



これからライフデザイン塾 藤木啓氏講演より

2019 年度(平成 31 年度)活動報告(案)

1、活動のまとめ	…1
2、2019 年度事業活動実績	
1) 在宅ホスピス支援センター事業(ホスピスボランティア活動)	
①大切な人を亡くした方の集い	… 3
②患者らいぶらり	… 3
③宮崎聞き書き隊	… 4
④看取り寄り添いナース・ボランティア	… 4
⑤緩和ケア病棟園芸ボランティア	… 5
⑥がん患者団体との情報交換	… 5
2) 人材養成のための教育プログラム	
①これからライフデザイン塾	… 6
②市民公開講演会「ピア」上映会&講演会(宮崎市補助事業)	… 7
③がんカウンセラー養成研修会(宮崎県委託事業)	… 8
3) エンドオブライフケア支援事業	
①暮らしの保健室	… 9
・ゆるりサロン、えがおキッチン、お灸教室、ゆるり短歌会	
②ふらっとカフェ(がんサロン事業・宮崎県委託)	… 1 3
③宮崎市在宅療養相談支援事業(宮崎市補助事業)	… 1 5
4) ホームホスピスカあさんの家事業	… 1 6
5) 医療・介護保険規定による事業	
①訪問介護ステーションぱりおん	… 1 9
②訪問看護ステーションぱりおん	… 2 0
6) たちばな在宅総合支援ハウス事業(街中ごちやまぜプロジェクト)	… 2 2
7) ホームホスピス推進研修センター事業	
①日本財団在宅ホスピス実践リーダー養成プログラム	… 2 3
②ホームホスピススキルアップ研修	… 2 3
③一般社団法人全国ホームホスピス協会事務局の運営	… 2 4
8) 情報・広報	
①ニュースレター発行、ホームページ、マスコミなどの紹介、雑誌などへの掲載	… 2 5
②講師派遣、見学者受け入れ	… 2 5
9) 組織運営	
①理事会・総会	… 2 8
②事務局	… 2 8
◎ 2019 年度決算(案)・財産目録・監査報告	

1. 活動のまとめ

◎はじめに

本年度の始まり4月1日に、平成天皇の退位に伴い新元号「令和」とすることが発表され、5月1日、平成から令和へ新しい時代が始まりました。日本中、新天皇の即位を祝う華やかな行事が続き、本年度の事業も、滞りなくスタートし展開されました。

しかし、2019年12月、中国湖北省武漢で発生が伝えられた新型コロナウイルスは、あっという間に中国からアメリカ、ヨーロッパに感染が広がりました。ITによって個人のライフスタイルから産業構造、マスメディアまで大きく変化し、グローバル化で、人々の移動も国境を越えて広がっており、誰も免疫を持っていない新型のウイルスの脅威は、世界の情勢を後戻りできないくらい一変させました。2月になると日本においても感染者が増え続け、新年度になった4月17日には、新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言が全国に出されました。外出の自粛や学校の休校など、これまで経験したことのない事態が今も続いています。

ホームホスピス宮崎でも、2月以降、主な主催行事の中止や延期に追い込まれました。また、かあさんの家や訪問看護ステーションぱりおんでは、住人の方々や在宅で暮らす利用者は、感染症に対してハイリスクの方々ばかりで、感染予防の対策を迫られました。本年度の事業の後半は、新型コロナの影響を大きく受けて、縮小見直しをすることとなりました。

◎人材養成のための教育プログラム

超高齢時代にどう自分の人生をデザインして暮らしていくのかを考える為に、昨年度より始まった「これからライフデザイン塾」は、会場を暮らしの保健室に移し、期間も10月から12月までに5講座、少人数(20名程度)対話形式で進める形態で開講。受講料も500円と負担にならない金額に設定し、内容は、終末期の医療へのかかり方、聞き書きや遺言などの終活、語りなどで、塾生同士のつながりも生まれて好評で、今後も講座を継続していく事業となりました。また、2月29日開催予定の「映画ピア上映と講演会」は来期に延期、3月14日開催予定の「がんカウンセラー養成講座」も、来期に持ち越されました。

◎暮らしの保健室の役割

「ゆりサロン」は週2回定期的に開かれています。一人暮らしの高齢の方や、要介護であって家族が留守の時の利用など、ここに来ると馴染みの顔があり、一緒にお昼ご飯を食べおしゃべりする楽しみが健康を取り戻し、認知症等の進行を抑えています。

この空間は、勉強会や「えがおキッチン」、「ゆり短歌会」など、様々な集いの場としての役割を果たしています。20名から30名の小規模であれば地域に開放し、その内容を毎月おたよりとして発行しています。

また、宮崎市在宅療養相談支援(宮崎市補助事業)は、相談電話を訪問看護ステーション内に設置し、癌の治療などの専門的な医療への不安や、介護に関するもの、どのように施設を選べばいいのか等、地域で生活を継続するためにどうすればいいのかという相談を受けています。対面での相談には、暮らしの保健室でお話をお聞きしています。

◎ふらっとカフェ(がんサロン事業)

宮崎県の事業委託で、毎月1回宮崎県立病院の会議室をカフェにして、ボランティアで運営しています。近年、若年のがんの方が増えてきており、その方々が自発的にAYA世代(思春期から若年青年)の患者会を立ち上げ、ふらっとカフェから支援に繋がりました。AYA世代のがんは、成長・発達段階で発症する

がんであり、身体的な影響に加え、社会的な影響(就職、家族との関係、結婚や出産、経済的な負担など)をはじめとしてさまざまな課題を抱えています。暮らしの保健室を会場に、月 1 回で開催されることになりました。

◎ホームホスピスカあさんの家の運営

本年度は、かあさんの家の住人7名の方を看取りました。がん、血液疾患、心疾患、認知症の方々に、症状が急変した方、自然死に近い形でご家族が集まって看取られた方々などです。また、諸事情で他施設に転居された方2名もあり、家族の精神的な支援も必要でした。

介護スタッフは、24 時間切れ目のないケアを提供していますが、医療的依存度の高い方が多いために、喀痰吸引の資格を取得していることが必要となります。7 月に交通事故や病気などで一挙に 4 名の欠員で人員配置に余裕がなくなり、スタッフの献身的な奮闘が続きました。介護スタッフの人員不足は、今後の大きな課題です。

そして 2 月にはコロナ感染防止対策で、「ウイルスを持ち込まない」為に、ご家族への面会の制限、換気や消毒などの環境の整備に、一層の感染対策を取りながらのケアとなっています。

◎訪問看護ステーションぱりおんの運営

訪問看護ステーションぱりおん(2015 年開設)は 2 月で 5 年を経ました。常に 24 時間連携体制が必須ですから、スタッフ人員の厳しい中、理学療法士の増員やパート勤務などの助けを借りて、ケアの質を大切にすることで実績を積み上げてきました。特に、癌終末期の方や医療的ケア児の訪問など、重度のケアが必要な方の訪問看護が大きな割合を占め、在宅での看取りも多く、強化型 3 を申請しました。また、来期は医療的ケア児や医療的依存度の高い重度介護の在宅療養の為の支援を模索し、新たな看護体制の構築に向けての一步を踏み出す計画です。

◎たちばな在宅総合支援ハウス(街中ごちゃまぜプロジェクト)

平成 26 年 4 月、橘通東の実家跡地を宮崎のために活かしてほしいとのご遺族の提案を受けて以来、プロジェクトを組んで(医師、訪問看護師、薬剤師、相談員、歯科医、親の会、事務局)、月 1 回のペースで集まり模索してきました。

難病児と家族を地域で孤立させない取り組みを宮崎で展開するために、日本財団の難病児支援プログラムの助成金の可能性を探り、建築物や図面の検討などをこまめに取り組みました。そして来年度は「たちばな在宅総合支援ハウス」着工の予定でとなっています。

◎事務局体制の充実と(一社)全国ホームホスピス協会事務局の運営

HHM事業が円滑に進むように会員管理や労務管理、経理や文書の作成、かあさんの家の在庫管理など業務は多岐にわたっています。8 月には組織運営について、非営利組織評価センターの第 3 者組織評価(ベシック評価)において「全ての基準を満たしている」と評価されました。また、認定NPOの 5 年経過後審査を受け、改めて認証されました。

また、一般社団法人全国ホームホスピス協会の事務局をホームホスピス宮崎(HHM)に置いて両方の事務局業務を担っています。全国のホームホスピスは現在 43 団体、家の軒数では 58 軒となっています。新たに開設するホームホスピスの支援や、質の向上のためにレビュー(評価)など、全国に出向いての業務が増えました。

2、2019 年度(平成 31 年度)事業活動

1)在宅ホスピス支援センター事業(ホスピスボランティア事業)

事業	事業概要	事業内容と実績
<p>① 大切な人を亡くした方の集い</p>	<p>実施日時: 毎月第4月曜日 10:30～ 場所:日本キリスト教団 宮崎教会 担当:脇坂峰子</p>	<p>◆実施日:(参加人数) 2019年4/22(3)、5/27(6)、6/24(4)、7/22(6)、8月休会 9/23(5)、10/28(6)、11/25(4)、12/18(5)、2020年1月休会 2/24(3)、3月休会 合計 9回 延べ参加者数 42名 休会 3回(8月、1月、3月)</p> <p>新型コロナウイルスの流行で学校の休校を始め種々の集まりが難しくなった。早くの終息を願っている。</p> <p>◆内容:例年8月は休会にしているが、今年度は風雨、新型コロナウイルスの流行の為1月、3月は休会。何回か入院された方が出席できる様になり活気があったが、年末に再び入院され、高齢なので心配している。一時休まれていた方が再び出席されている。</p>
<p>② 患者らしい暮らし</p>	<p>実施日時: 毎月第3木曜日 14:00～16:00 場所: 古賀総合病院 中央4F病棟 東棟3F病棟産婦人科 担当:峰瑞枝 ◆ボランティア:4名 峰 瑞枝、野平トヨ子 前田せつ子、山下真理子</p>	<p>◆実施日: 2019年4/18、5/16、6/20、7/18、8/22、9/19、10/17、11/21、12/19、 2020年1/16、2/20(※2020年3月は新型コロナウイルス感染拡大予防の為、中止) 合計 11日 活動延べ人数・・・38名</p> <p>◆貸出 【中央4階内科病棟】利用者数 409名 貸出冊数 586冊 【産婦人科病棟】利用者数 225名 貸出冊数 373冊 総合計 利用者 634名 貸出冊数 959冊</p> <p>◆返却 【中央4階内科病棟】利用者数 339名 返却冊数 567冊 【産婦人科病棟】利用者数 223名 返却冊数 365冊 総合計 利用者 562名 返却された冊数 932冊</p> <p>・沢山の方が本を借りて下さって有難く思う。今回は国語辞典(1)漢和辞典(2)の寄贈。皆様のご利用が楽しみで、益々ご利用頂き返却時も綺麗に返して頂けると大変助かる。</p> <p>・本館・産科共にたくさんの借り出しがある。この数量は久しぶりのことで、「やっぱりこんなに利用していただくと、うれしいね」とみんなの一致した感想。</p> <p>・後方側がよく見えて、本を取り出し易いようにダンボールを重ねて台座にして物を置くなど、患者の皆様が選択し易く、借り易いようにスタッフで工夫できた。同時に、古い本の処分と入れ替えを実施。かなりの時間を要したが、古い本が少なくなり本棚も綺麗になった。利用者の皆様が使いやすいように、少しずつ改善を行いたい。</p> <p>・産科病棟の貸出本に欠本(11冊)が目立ってきたため、補充したい。</p>

事業	事業概要	事業内容と実績
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">③ 宮崎聞き書き隊</p>	<p>◎聞き書き定例勉強会 実施日時： 毎月第2日曜日 10:00～12:00 場所： 暮らしの保健室 市民活動センター 担当：井上直敬</p> <p>◎リレー聞き書き 場所：デイケアかなりあ ハートピア細見クリニック 参加ボランティア：4名 西川良子、廣井寿美子 赤嶺智子、井上直敬</p> <p>◎個別聞き書き</p> <p>◎聞き書きの研修</p>	<p>◆実施日（参加人数） 2019年4/14(5)、5/12(7)、6/9(9)、7/21(6)、8/18(7)、9/8(10)、10/20(4)、 11/10(これからライフデザイン塾にて)、12/8(2)、2020年1/19(6)、2/17(休会)、 3/10(休会)</p> <p style="text-align: right;">合計9回 延べ参加者数：56名</p> <p>講座を受けたあとを定着した活動に導くために、聞き手・書き手としての疑問や行き詰まりを解消するために定期的実施している。また交流の場、情報交換の場としての機能も有している。</p> <p>◎リレー聞き書き 細見クリニックの“デイケアかなりあ”で実施されている回想法によるケアに黒子として参加し発せられる言葉をリレー式に拾い集めて各利用者別に一冊の聞き書き本として差し上げている。</p> <p>“デイケアかなりあ”での聞き書きの手法取得も進んできた。一方ボランティアの参加機会が減少してきた。そこで2012年から継続してきた活動は、9月をもって終了することにした。</p> <p style="text-align: right;">合計13回 延べ16人 利用者16名（延べ62回）</p> <p>・山本和美 90歳代・男性『ねんりん その二』 老いた父親が語った自身の職人としての誇りと生き方を娘が聞き書きした。</p> <p>『これからライフデザイン塾』の第3回講師として 講師：井上直敬（宮崎聞き書き隊 隊長） 11/10（暮らしの保健室）開催 受講者 14名</p> 
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">④ 看取り寄り添いボランティア</p>	<p>看取り寄り添いナース ボランティア 久保野イツ子 本田澄子 入佐典子</p>	<p>○活動実績はなし</p> <p>この事業は、これからの高齢化社会において、看取りの重要性が課題となっている中であり、それをサポートする活動はますます必要となっている。ボランティアの高齢化により夜間の外出が困難となり、活動休止となっている。</p> <p>しかし、事業計画の中では残し、今後可能になれば実施できるようにしておきたい。</p>

事業	事業概要	事業内容と実績
⑤ 緩和ケア病棟園芸ボランティア	実施日時： 毎月第1・第3水曜日 10：00～12：00 場所： 宮崎市郡医師会病院 緩和ケア病棟 中庭 ◆園芸ボランティア： 村中伸子、南涼子 高木典代、甲斐ケイ子 原田ゆみ子、牧野清子 安達周子(R1, 11月～) 河野加代子(R2, 1月～) 武田敏子(R2, 2月～) 計9名	◎緩和ケア病棟の庭園の花の管理等 ◆手順 1、緩和ケア病棟の受付に挨拶し、受付で鍵を借りる 2、庭で植物等の手入れをする 3、ボランティアルームで活動ノートを書き、受付で終了の旨伝え辞す ◆実施日(参加人数) 2019年4/3(4)、4/17(2)、5/8(3)、5/15(1)、6/5(2)、7/3(1)、 8/7(1)、9/4(1)、9/18(1)、10/2(2)、11/6(2)、11/20(4)、12/4(2)、 12/18(2)、2020年1/15(4)、2/5(3)、2/19(3) (※2020年3月は新型コロナウイルス感染拡大予防の為、中止) 合計17日 延べ参加人数 38名 ・アザレアの鉢の土が少なくなってしまう、ふちより低く美しく咲いているのが見えずに残念だった。 ・ノボタン、ジンジャー、ランタナの花が美しく咲いた。 ・きれいに草刈りがしてあり、ゆっくり青空の下楽しく作業ができた。 ・花がたくさん植えてあり、庭が華やかになってよかった。 ・前に植栽された花々が大きくなっていて嬉しかった。 ◆活動内容 4/3・・・草取り、花柄摘み、水やり 4/17・・・落葉集め、花柄摘み・草取り 5/8・・・花柄摘み、草取り(花壇内・モニュメント内) 5/15・・・草取り、花柄摘み 6/5・・・枯葉拾い、落葉拾い、草取り 7/3・・・鉢の中の水の確認、草取り、アジサイの花切り、はまゆうの花切り 8/7・・・アジサイの剪定(花切り)、フェニックスの落ち枝片付け等 9/4・・・アガパンサス、ストレリチアの花柄つみ、はまゆうの種取り等 9/18・・・落葉集めを重点的に。 10/2・・・枯葉、枯枝集め、鉢の中の草取り、枯花、草とこけ取り 11/6・・・鉢の中と花壇の枯枝や枯花取り 11/20・・・鉢、花壇の枯枝や花柄摘み、落葉掃き、花の植え換え 12/8・・・花壇の手入れ、枯葉、そうじ、雑草取り 1/15・・・花壇の花柄摘み、花壇周りの枯枝、枯葉拾い、雑草取り 2/5・・・花壇の花柄取り、草取り、花壇周りの枯枝、枯葉拾い 2/19・・・花壇の花柄取り、フェニックス(大きな枝)の片付け 3/4、3/18・・・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、休止 ※宮崎市郡医師会病院移転に伴い、令和2年3月までで一旦終了とした。移転後の園芸ボランティア活動について緩和ケア病棟師長に相談したところ、引き続きお願いしたいと返事をいただく。移転後の再開時期は未定。移転先は「生目の森運動公園」の南西部で、生目地区の新たなボランティア募集をしようと考えている。
等 ⑥ がん患者団体 との 情報 交換	AYA 世代お茶会 実施日時： 毎月第4日曜日 13：30～15：30 担当：太田幸子	◎宮崎がんサークル shiny への支援 ◆実施日(参加人数) 2019年11/24(8)、12/22(8)、2020年1/26(4)、2/23(3) (※2020年3月は新型コロナウイルス感染拡大予防の為、中止) 合計4日 延べ参加人数 23名

2) 人材養成のための教育プログラム

① これからライフデザイン塾

【開催の背景】

厚労省が公開した「平成 29 年簡易生命表」によれば、日本人の「平均寿命」が過去最高を更新して、男性は「81.09 歳」、女性は「87.26 歳」となった。100 歳以上の高齢者は約 7 万人となり、そのうち 88%を女性が占めています。この統計が示すものは、もはや定年退職して余生を楽しむ時代ではなくなった、その後の人生が長くなっているということを表している。このような時代背景を踏まえて、これからの自分の生き方を考え、超長寿時代の生き方を、元気なうちにどのように「身じまい」の支度をすべきか、また、そうした文化をどう構築していけばいいのかを考える足掛かりとする講座ができないだろうか考えた。

ホームホスピス宮崎の教育プログラムとして、「ケアする人の為のスキルアップ講座」があり、その要素も残しつつ、少し内容を広げて企画。終活として『遺言のこと、葬儀に関すること、医療者への意思表示について、聞き書き講座、日本文学を紐解く語りのと朗読の時間、本人の心構えと家族の覚悟について』の 5 講座をプログラムした。

【開催概要】 会場：ホームホスピス宮崎『暮らしの保健室』

- 第 1 回 期日：10 月 3 日(木) 13:00～15:00
内容：人生の終い方(生前整理・相続など)
講師：高橋 好香 先生、金子 聡 先生
参加者：11 名
- 第 2 回 期日：10 月 26 日(土) 14:00～16:00
内容：人生の最後に医療とどう関われば良いか
(医療者への意思表示など)
講師：藤木 啓 先生
参加者：34 名
- 第 3 回 期日：11 月 10 日(日) 10:00～12:00
内容：聞き書きを始めよう！(大切な人の物語を残す)
講師：井上 直敬 先生
参加者：14 名
- 第 4 回 期日：11 月 21 日(木) 10:00～12:00
内容：物語を楽しむ(朗読・語りの魅力)
講師：藪田 潤子 先生
参加者 14 名
- 第 5 回 期日：12 月 5 日(木) 10:00～12:00
内容：『もしものときのために』(本人の心構えと家族の覚悟)
講師：市原 美穂 先生
参加者： 31 名



【まとめ】

今年度は会場を全て「暮らしの保健室」と決め、全5回行った。外部の会場ではなく、暮らしの保健室で開催することにより、暮らしの保健室を知っていただき、「何かあったらここへ相談すればいいね」と思っただけの居場所づくりになってほしいという願いもある。

少人数で実施することにより、質問もしやすく、参加者同士の会話も生まれ親近感を持って参加しているようだった。しかし、ご意見をいただいた中に、市街地から離れているのでバス利用の方にとっては行きづらいという方もあった為、今後も検討が必要である。



②市民公開講演会（平成31年度宮崎市在宅療養相談事業）

*新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止

映画「ピア～まちをつなぐもの～」上映会

講演会「ごちゃまぜの多職種連携で興す地域医療の革命」

【開催概要】 期日：2020年(令和2年)2月29日(土) 13:00～16:30

会場：宮崎市民文化ホール イベントホール

講師：吉村 学（宮崎大学医学部 地域医療・総合診療医学講座 教授）

令和2年2月29日開催を予定し、実行委員会を設置

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため延期し、来年度同プログラムで計画する。

すぐに会場と講師、映画配給先には、その旨を伝え7月を予約した。

- ・第1回実行委員会 令和2年1月29日 …広報について
- ・第2回実行委員会 令和2年2月21日 …中止について

実行委員、ボランティア数8名、事務局6名

【まとめ】

人生の最終段階をどう迎えるのか、個人個人の病気や状況は違うので、こうでなければならないという答えがあるわけではないが、だれにでも訪れる命の終わりに、目を背けずに考えたり、話を聞いたりすることは大切である。

地域包括ケアをより身近なものにするために、「ピア」の映画と講演会を企画したが、コロナ感染防止対応で来期に延期した。新型コロナウイルスは、8割が軽症であるがそれゆえ無自覚で感染が広がり、2割は急激な病状の変化で死亡する。21世紀はウイルスとの闘いであると言われているが、宮崎市でも様々なところに影響が出ている。病院や施設では、家族の面会が禁止され亡くなるときにも会えないという声も聞く。在宅療養の方々や介護施設などにも不安が広がり始めている。人が生きていくということ、自分らしく生きる…を改めて考えることを突き付けられ、コロナは今後の社会のあり方を変えていくのかもしれない。

③がん患者と家族のためのサポーター養成講座 (宮崎県がんサロン等運営支援事業業務委託)

*新型コロナウイルス感染症予防のため中止

相手が話したくなるような「聞く力」～五感を取り戻すためのワークショップ～

【開催概要】

期日：2020年(令和2年)3月14日(土)

開場：J A A Z Mホール 別館

講師：秋山正子先生

ケアーズ・白十字訪問看護ステーション代表取締役所長、マギーズ東京初代センター長で、2年に一度、顕著な功績のあった看護師等に贈られる世界最高の記章である「第47回フローレンス・ナイチンゲール記章」を2019年5月に受賞

板井孝壱郎先生

宮崎大学医学部医学科 社会医学講座 生命・医療倫理学分野教授 臨床倫理部 部長(臨床倫理アドバイザー)

演題：“相手が話したくなるような「聞く力」～五感を取り戻すためのワークショップ～”

参加費：1000円(資料代等)

【内 容】

板井孝壱郎先生からは、『苦悩している人のお話を聞く時に、倫理的に気をつけなければならないことについて』、秋山正子先生からは、『英国マギーズセンターのサポートプログラムよりヒントを得た「五感を取り戻すためのワークショップ」を通し、相手が話したくなるような「聞く力」を身につける方法』を教えていただく予定だったが、開催できなかつたため、来年度同じ内容で実施予定である。

3) エンドオブライフケア支援事業

【暮らしの保健室】

地域に開放した暮らしの保健室を目指して、

暮らしの保健室で催される内容を、毎月「暮らしの保健室だより」として発行した。

計12回発行

通年として、「ゆるりサロン」月・水 10:00～15:00 が開かれている。要支援までの認定を受けるまでもない一人暮らしの高齢の方や、要介護であっても、デイサービスのない日など、気軽に出かけられ、そして、そこに行くとなじみの顔があり、楽しみができる。そうすることで、健康が取り戻し、認知症などの進行を抑えることができている。

月に1回、「ゆるり短歌会」では、読まれる1編1篇が、生活の中から感じられることや、季節の気配に感じられる感情などが織り込まれている。

そのほかの行事や会合など、35回、約300名の利用があった。

《暮らしの保健室利用状況》「ゆるりサロン」は定例・毎週月、水10:00～15:00

月	日	曜日	時間	内容	人数
4月	12	金	10:30～12:00	ゆるり短歌会	7
	14	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	5
5月	8	水	19:00～21:00	街中プロジェクト会議	8
	12	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	7
	15	水	19:00～21:00	街中プロジェクト会議	10
	20	月	19:00～20:00	理事会	5
	22	水	19:00～21:00	街中プロジェクト会議	8
	24	金	19:00～22:00	宮崎ケアケアネットワーク	7
	25	土	13:30～14:30	定期総会	18
6月	6	木	19:00～21:00	街中プロジェクト会議	6
	9	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	9
	14	金	10:30～12:00	ゆるり短歌会	7
	20	木	19:00～21:00	街中プロジェクト会議	6
	21	金	18:30～19:30	セルフお灸教室①	3
7月	21	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	6
	26	金	14:00～17:00	タクティール研修	10
	27	土	10:30～14:00	えがおキッチン①	11
8月	9	金	10:30～12:00	ゆるり短歌会	6
	17	土	11:00～17:00	訪問看護ステーションぱりおん「夏祭り」	28
	18	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	7
	30	金	18:30～19:30	セルフお灸教室②	4

月	日	曜日	時間	内 容	人数
9月	8	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	10
	12	木	10:00～12:00	恒久自治会	25
10月	3	木	13:00～16:00	これからライフデザイン塾①	13
	11	金	10:30～12:00	ゆるり短歌会	7
	20	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	4
	26	土	14:00～16:00	これからライフデザイン塾②	33
	31	木	19:00～21:00	街ン中プロジェクト会議	6
11月	7	木	19:00～21:00	街ン中プロジェクト会議	5
	10	日	10:00～12:00	これからライフデザイン塾③	14
	21	木	10:00～12:00	これからライフデザイン塾④	13
	24	日	13:30～15:30	宮崎がんサークルshinyお茶会(座談会)	8
	29	金	18:30～19:30	セルフお灸教室③	5
12月	5	木	10:00～12:00	これからライフデザイン塾⑤	27
	5	木	19:00～21:00	街ン中プロジェクト会議	5
	8	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	2
	13	金	10:30～12:00	ゆるり短歌会	7
	21	土	10:00～14:30	えがおキッチン②	21
	22	日	13:30～15:30	宮崎がんサークルshinyお茶会(座談会)	8
	26	木	19:00～21:00	街ン中プロジェクト会議	6
1月	9	木	19:00～21:00	街ン中プロジェクト会議	8
	19	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	6
	26	日	13:30～15:30	宮崎がんサークルshinyお茶会(座談会)	4
	30	木	19:00～21:00	街ン中プロジェクト会議	6
2月	14	金	10:30～12:00	ゆるり短歌会	5
	20	木	10:00～12:00	ミニサロン アロマクリーム作り 主催:赤江地域まちづくり推進委員会	15
	23	日	13:30～15:30	宮崎がんサークルshinyお茶会(座談会)	3

事業	事業概要	事業内容と実績
① 暮らしの保健室	<p>◎ゆるりサロン 実施日時： 毎週月・水曜日（週2） 10:30～15:00</p> <p>担当理事：立川志乃</p> <p>ボランティア： 矢野小枝子、南谷佳子 藤本美穂、三堂悦子 小倉優子、波越千恵子</p> <p>体操指導： 三堂悦子、南谷佳子</p> <p>パッチワーク指導： 大山さよ子</p> <p>タクティールケア： 佐伯衣江、吉岡順子 西山市子</p> <p>ビーズアクセサリ 製作指導： 黒木千春、上野由美子</p> <p>音楽療法： 毎月第1水曜日 指導：南正覚文子</p> <p>◎小戸の橋 ストリートフェスティバル参加</p>	<p>◆実施日（回数） 2019年4月(7)、5月(9)、6月(8)、7月(9)、8月(6)、9月(7)、 10月(8)、11月(7)、12月(8)、2020年1月(6)、2月(7) (※2020年3月は新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止) 合計 82回</p> <p>◆延べ利用者（人数） 2019年4月(35)、5月(43)、6月(39)、7月(43)、8月(30) 9月(34)、10月(41)、11月(36)、12月(42)、2020年1月(34) 2月(36) 合計 413名</p> <p>◆延べボランティア数(人数) 2019年4月(31)、5月(39)、6月(35)、7月(39)、8月(29)、 9月(32)、10月(37)、11月(33)、12月(34)、 2020年1月(25)、2月(28) 合計 362名</p> <p>年間行事： 4/1 テレビにて新元号発表を見る 7/8 セタさま（フラダンスを習う） 8/5 ビーズのブレスレット、ストラップ作り 8/19、21 放課後ディサービス(小1～高3)サロンに参加 9/11 ヨガ体操 10/30 ステンシル製作 12/25 クリスマス会（オカリナ・ギター演奏） 2/3 豆まき</p> <p>・音楽療法 毎月第1水曜日</p> <p>・4～2月 イオン幸せのイエローシートキャンペーン参加 健康管理、音楽療法、タクティールケア、ビーズ製作、パッチワーク… 1年間和やかに過ごせ、利用者さんが病をえて入院したり体調を崩して お休みした時の励ましあいは本当に家族のようで、サロンに集えること の幸せを感じた。お花見ランチ会を計画していたが、3月サロンが新型 コロナウイルス感染拡大防止の為、実施できず非常に残念。</p> <p>2019年10/5 赤江小学校 地域に開かれた「暮らしの保健室」として 赤江まちづくり協議会主催事業へ出展</p> <p>・タクティール無料体験 ・暮らしの保健室案内</p>   

事業	事業概要	事業内容と実績
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">① 暮らしの保健室</p>	<p>◎えがおキッチン 講師：松井康代 (助産師・調理師)</p>   	<p>スローフードで、無農薬野菜や無添加の調味料を使って体に優しい料理を学びます。</p> <p>◆実施日・内容・参加人数</p> <p>7/27(土)「宮崎野菜たっぷりスープカレー・ナッツのチョコブラウニー等」 参加者 10名 講師：松井康代</p> <p>12/21(土)「手作りパン・煮込みハンバーグ・リースサラダ・クリスマスケーキ」 参加者 19名 講師：松井康代</p> <p>3/21(土)「白身魚と野菜のグリル焼き・チキン南蛮・デザート等」 講師：松井康代</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大予防の為、中止。</p> <p style="text-align: right;">合計 2回 参加人数 29名</p> <p>今年度はコロナ拡大防止のため、3月予定は中止となり2回の実施となった。</p> <p>参加者は、乳児、小学生から高齢者まで、多くの方に参加頂いた。宮崎の食材を使った簡単メニューであるが、色合いや飾り付けにも工夫し綺麗に仕上がった。ケーキ類は、子ども達が飾り付けを担当し、バラエティに富んだものが出来上がった。</p> <p>毎回、美味しいものを作りながら楽しく交流が図れている。</p> <p>12月は子どもの参加が多かったが、周りに気配りが出来る子ども、乳児の扱い方が上手な子どもに、大人の私達が学ぶ機会となった。プロの外部講師は好評で依頼していたが、都合で実施出来なかった。次年度は実施したい。</p>
	<p>◎セルフケアのための お灸教室 講師：園田清美 (看護師・鍼灸師)</p>  	<p>◆実施日・内容・参加人数 (新規)</p> <p>6/21 (金) 18:30~19:30 「夏のお灸」 3(3)</p> <p>8/30 (金) 18:30~19:30 「秋にそなえるお灸」 4(4)</p> <p>11/29 (金) 18:30~19:30 「冬にそなえるお灸」 5(3)</p> <p style="text-align: right;">合計 3回 参加人数 12(10)名</p> <p>今年度は、週末(金曜日)の夕方(18時半)からの開催に変更。担当者の都合で土日開催が困難だったため、開催日を週末の夕方から設定。</p> <p>1時間の予定でしたが、参加者のお灸に関する関心も高く実際の実施時間は1時間半になった。</p> <p>参加者には「ホームホスピス宮崎」近隣にお住まいの方も連続参加。参加者の方の口コミで新規の参加者も増えており感謝している。</p> <p>基本的には女性専門のお灸教室で企画しているが、男性の希望もあり一緒に実施。施術部位が手足なので支障はない様子。今年度は、ランナーのためのお灸も盛り込み実施することができた。若い方の参加をさらに勧めていきたいと思ひます。</p> <p>次年度は、「妊活のお灸」の企画も検討中。また、コロナ感染症拡大の状況を注視し感染対策に十分配慮しながら開催したい。</p>

事業	事業概要	事業内容と実績
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">① 暮らしの保健室</p>	<p>◎ゆるり短歌会 実施日時： 隔月第2金曜日 10:30～12:00</p> <p>指導：堀越照代 担当：立川志乃</p> <p>会友： 高山美智子、戸部恵美子 興柁恵子、稲葉厚子 坂口まゆみ、堀越照代 長野律子、和田千年 立川志乃</p>	<p>◆実施日(参加人数) 2019年4/12(7)、6/14(7)、8/9(6)、10/11(7)、12/13(7) 2020年2/14(5)</p> <p style="text-align: right;"><u>合計6回 のべ参加人数39名</u></p> <p>会友 9名 2ヶ月に1度の短歌会を楽しみにしている。</p> <p>◎宝泉寺色づいているイチョウ木クリスマスツリーの如華やいでおり ◎春の川さざ波に浮く親子鴨われ歩みつつ若き日思ふ ◎果樹園に足を運ぶ楽しみは輝いている日向夏の実 ◎「おはよう」と声をかければ戸惑いて二羽のカラスが飛びたちてゆく ◎「久しぶり肉噛みきれた？また来てね」ハグするふたり焼き肉店で ◎時の中に風となりたるものがたり山幸彦と豊玉姫の ◎「白鳥は悲しからずや」坪谷小の子の群読よ海あおく照る</p> <p>*ホームホスピス宮崎のホームページに作品を掲載。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">② がんサロン(ふらっとカフェ) 事業・主催：宮崎県運営企画 ホームホスピス宮崎</p>	<p>実施日時： 毎月第2水曜日 13:30～16:00 場所：県立宮崎病院 3階会議室</p> <p>カフェスタッフ： 市原美穂、久保野イツ子、 太田幸子、村中伸子、 有村喜久代 (呈茶) 緒方道子、竹井由夏 (アロマセラピスト) 日高里美、杉尾ひろみ、 児玉千穂、田端千春、 藤島美智子、川越紀子、 廣島早苗</p> <p>担当：太田幸子</p>	<p>◆内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんの手術前や初めての化学療法前に不安だらけで来られた方は、経験した方の話を聞きいているうちに、不安でこわばっていた顔がほぐれ、前向きに治療に向かう気持ちへと変化が見られた。その他、治療中の相談先や診察時の医師への質問の仕方などの相談があり、相談員だけでなく先輩の患者さんからもアドバイスをいただいた。 ・連携室の紹介でいらした母親ががんの息子さんとは、母親の思い、本人の思いを整理し、どうしたら解決できるかを一緒に考えた。 ・もう治療がないと言われた方も来られたが、がんに対する積極的な治療はなくても、決して何もしないわけではなく、現在の生活が少しでも長く続けられるような支援が受けられ、状況に合わせた医療やケアがあり、それを受けるためにどうするかもお教えした。また、つらくても、今後どうなっていくかを事前に医師から聞いておくことで、何か起こった時に慌てず対処できることも伝えた。 ・遺族の方からは、闘病の過程で頑張ったことを聴くことができた。 ・参加者自ら、初めて来られた方のもとに行き、自分の体験や考え方を話して下さるようになった。悩んでいるのは自分だけではないとわかり、安心される。

事業	事業概要	事業内容と実績
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">② がんサロン(ふらっとカフェ) 事業・主催：宮崎県運営企画：ホームホスピス宮崎</p>	 <p>ふらっとカフェ 2019年度開催スケジュール表</p> <p>2019年度開催スケジュール表</p> <p>2019年10月開催スケジュール表</p> <p>2020年開催スケジュール表</p> <p>2020年10月開催スケジュール表</p> <p>【住所】宮崎県宮崎市大塚町1-1-1 TEL 0985-25-7072 FAX 0985-25-7316 【受付時間】受付時間 9時～17時 休館日 日・祭日 TEL 0985-25-8068 FAX 0985-25-6261</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高千穂から竹細工や切り絵の作品、季節の花などを持参して下さる方がいる。カフェ仲間と大声で笑い、楽しい時間となっている。 ・無料のアロママッサージはいつも順番待ちで、好評。初めて来た方も、話を聴いてもらうだけでなく、マッサージを受けると更にリラックスでき、打ち解けることができる。マッサージを受けるのを楽しみに来られる方もあり、カフェに来る動機づけになっている。 ・初めての方は、参加者の笑顔と活気に、皆さん本当にがん患者さんなのかと驚かれるが、再発で治療中の先輩患者さんの話に病人になってしまわなくても良いことに気づかれるのか、来られた時より元気な顔で帰られる。 ・来訪者数が多いと、一人にかける時間が限られてしまう。話を聴くメンバーの数の確保が今後の課題であるが、アロマの方の存在が補っている。以前の養成講座で学んだように、自分の価値観を言うのではなく、その方のこれまでの生活から、その方がこれからの治療や療養の場を選んで行けるように意思決定支援をしていきたいと思う。 ・患者会を主催している患者さんが具合悪くなられ、会の活動が中止になったり、休止になっているところもある。宮崎で新しく“働く世代、若い世代の患者会”が発足したことを歓迎している。がんになっても仕事や生活を継続できる社会になるようサポートを続けていきたい。参加をきっかけにLINEで繋がり、お互いに励まし合ったりしている。 ・来訪者に子育て中の患者さんや、20代の喉頭がんなどの、AYA世代の患者さんが増えてきた。AYA(アヤと読む)世代とは、思春期・若年成人のことをいい、15歳から39歳の患者さんがあてはまる。患者さんも中学生から社会人、子育て世代とライフステージが大きく変化する年代であり、病気だけでなく、社会的な課題も多く抱えておられ、一人ひとりのニーズに合わせた支援が必要となってくる。 <p>2019年10月に、働く世代、若い世代でがんサバイバーの方、そのご家族の方とつながる患者会「shiny」が発足された。2回目以降の開催場所として、ホームホスピス宮崎事務所内にある「暮らしの保健室」を提供し、毎月1回開催の支援や手伝いをするなど、支援の体制を作ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月の台風到来や、年度が変わってからの3月は、新型コロナウイルス感染症予防のため、開催できなくなってしまった。がんの患者さんの病気の罹患、進行、告知、治療の選択などは、新型コロナウイルス感染症の広がりとは関係なく起こっている。人と人が接触する機会は、感染の機会となるので、ふらっとカフェの再開は当分難しい。収束後の再開が待ち望まれる。 ・毎月第2水曜日に同じ場所で継続して開催されていることが大切といえるため、今後も継続していくことを期待する。

事業	事業概要	事業内容と実績
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">③ 宮崎市在宅療養支援事業（よろず相談室）</p>	<p>◎在宅療養 でんわ相談室 (宮崎市補助事業)</p> <p>相談担当： 白波さおり 市原美穂 吉村照代 古土井万寿美</p> <p>相談件数…67 件 相談内容内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設入所 ・その他在宅医療、 看取りなど <p>67 件のうち かあさんの家入居 7 名</p> 	<p>① 相談窓口の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎市において、がんや認知症等の終末期患者で、医療機関での積極的な治療を望まず、住み慣れた地域で、馴染みの人に囲まれて最期の時を過ごしたいと在宅療養を選択して、様々な困難にぶつかったときに、共に考え話を聞き語ることで、自分自身の気持ちや症状を整理し、「わたしらしく生きる」道標の場を設置する。 ・相談窓口設置の周知のためにチラシ作成。回覧板でのお知らせ。 <p>② 相談に応じる為に、メンタルケアや看取り、認知症の介護に精通している看護師等の相談員を置く</p> <p>③ 相談専用電話機を設置し、常に相談できる体制を整える。 専用相談電話 0985-67-5003 相談日：週 5 日午前 10 時から午後 5 時まで開設。 相談は、電話、または面接してお話を聞く。相談料無料。 相談内容に関する個人情報保護の重要性を認識し適正に取扱う。</p> <p>④ 相談内容は、癌の治療に関して抗がん剤や痛みの治療についてなどの専門的な医療の問題や、どのように施設を選べばいいのかなど、医療や介護に関しての専門的な相談が多い。 癌に関する相談の場合は、県立宮崎病院で月 1 回開催の「ふらっとカフェ」を紹介している。電話相談で、もっとお話を傾聴する必要がある場合には、暮らしの保健室においでいただき、どうしてもご本人にとって一番最善のかを一緒に考える時間を取っている。 これまでは、配偶者や子からの相談が多かったが、兄弟からの相談も増えている。退院後について、家族からホームホスピスへの入居希望があったと病院の連携室を通しての相談も増えた。 また、宮崎市会報に掲載された効果として、家族だけではなく、ご本人から介護サービスの使い方や現在困っていることの相談が増えている。現在も相談が継続している事例もある。また市報をみた高齢者クラブから「最期まで住み慣れた地域で暮らすための出前講座をお願いしたい」と依頼があり、花ヶ島地区で実施した。外出が難しかったり、ネットなど情報収集の難しい方にとって、回覧板で周知したことは、より効果があったのではないかと。</p>

4) ホームホスピスカあさんの家事業

事業	事業概要	事業内容と実績
ホームホスピスカあさんの家	<p>◎かあさんの家の運営 (2020年3月31日現在)</p> <p>【統括マネージャー】 久保野イツ子(～8月) 白波 さおり(9月～)</p> <p>【主任】 曾師・薬師寺恵 霧島代行・甲斐昌江 月見ヶ丘・荒川久美子</p> <p>開設 15周年 かあさんの家曾師 6月 かあさんの家霧島 11月</p>  <p>新型コロナウイルス 感染への対策</p>	<p>◆かあさんの家の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定した運営を目指す ・研修生の受け入れ ・家族会の開催 <p>《事業内容》</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 訪問診療、訪問看護と必要に応じてその他の職種の訪問サービスを受け入れ、地域連携サービスを整える。ここから、他の事業所のデイサービスなど利用する。 ② 24時間365日対応で、夜間1名、昼間2名のスタッフ配置。 ③ 家族を対象とした死のプロセスの理解や、看取りの心構えなどを、かかりつけ医や訪問看護ステーションと連携して保管する。看取りの時は、家族の食事や寝具などを提供し、安心して寄り添えるように配慮する。 ④ 高齢者の摂食嚥下に配慮して嚥下訓練やソフト食の提供。本年度より、調理担当を採用したことで、台所からの音や匂いに刺激され、食欲が増す効果がみられるようになった。 ⑤ 本人の意思を尊重した個別ケアを実施する。(排泄、食事、入浴、睡眠など) ⑥ 防災など地域住民と連携し、日ごろからのコミュニケーションを図る。日頃からの挨拶や地区の行事に参加するようにしている。 ⑦ 空いている民家を利用し、地域の共有財産として限りなく自宅に近い空間を提供、それが安心に繋がっている。 ⑧ 研修医、医学生、看護学生、自治学院、在宅ホスピスリーダー養成研修生の受け入れをし、研修の場として提供している。 <p>平成16年6月7日に曾師を開設し、霧島とともに15周年を迎えた。地域に生えてきたような「かあさんの家」をずっと見守ってくださった地域の方々の理解と支援に感謝し、15周年の記念品を配布。</p>  <p>◆2019年暮れに中国武漢で発生が伝えられた新型コロナの感染が2月には全国に広がりを見せてきた。かあさんの家の住人の方々は、抵抗力のないハイリスクの方ばかりである。最悪を想像して最善の予防をするという方針で、ご家族の面会の制限を設けた。「ウイルスを持ち込まない、ウイルスをもらいに行かない」ことはスタッフにも、ご家族にも日頃の行動を見直してもらうために、注意喚起の文書を配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度を超えて感染の拡大、医療崩壊の予測など、全国警戒態勢の発生予断を許さない状況が続いている。

事業	事業概要	事業内容と実績
ホームホスピスカあさんの家	<p>かあさんの家・曾師</p> <p>住人の数：5名</p> <p>平均介護度：3</p> <p>スタッフ：介護職7名 調理1名</p>	<p>☆かあさんの家・曾師</p> <p>看取り数：2名 新たな入居者：3名、短期入所1名 現在入居者：5名 (腎臓がん1名、認知症2名、透析1名、全盲1名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急な血液疾患の発症で、入院されて間もなく死去の報に驚いた。なによりご家族がその状況を受け入れることができずにおられるのが理解でき、見守るしかなかった。 ・ご夫婦とも視覚障害があり、奥様の手術のための入院期間中、ご主人が2週間滞在された。すぐに雰囲気慣れて過ごされた。奥様は安心して治療ができましたと感謝され、このような方にとってのかあさんの家利用は、ちょっとした止まり木の役割である。 ・高齢で人工透析を週に3回受けている方が、一人暮らしが困難になり入居、そのまま透析の診療所に通院している。
	<p>かあさんの家・霧島</p> <p>住人の数：5名</p> <p>平均介護度：4.4</p> <p>スタッフ：介護職6名 調理1名</p>	<p>☆かあさんの家・霧島</p> <p>看取り数：2名 新たな入居者：2名 入院1名 現在入居者：5名 (神経難病1名、胃瘻1名、認知症4名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳がん在宅療養中、痛みが酷くなり緩和ケア病棟入院、軽快後在宅での介護が困難とのことで入居。ご自身の人生を振り返り、最後にご家族を呼ばれて「みんな仲良くね。それが一番」と伝えられ、見事な人生の仕舞い方であった。 ・認知症が進み自宅介護の限界で入居。夜間の排泄が頻繁でそのたびにトイレ誘導。穏やかな老いの坂である。 ・入院中にADL低下、自宅での介護が無理だと隣家の住人である。ご近所さんのご利用は積極的に受け入れた。
	<p>かあさんの家・月見ヶ丘</p> <p>住人の数：5名</p> <p>平均介護度：4.5</p> <p>スタッフ：介護職6名 調理1名</p>	<p>☆かあさんの家・月見ヶ丘</p> <p>看取り数：3名 新たな入居者：3名 現在入居者：5名 (気管カニューレ1名、経管栄養1名、脳腫瘍1名、認知症2名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・摂食嚥下障害、認知症、癌疾患などで、医療的にも気管カニューレ、経管栄養、喀たん吸引などの医行為が求められ、重度介護が必要な方々が多くなっている。 ・脳腫瘍の為に在宅医療で過ごされていたが、徐々に介護度が増し奥様の負担が大きくなり入居。訪問診療、看護とも在宅から移行した。食べられなくなって経管栄養導入。節目節目でご家族の同意を取りながら、最後の過ごし方も含めて話し合いを持っている。 ・認知症対応のGHから入居。病状の変化があっても入院治療はせず、暮らしの中で穏やかにという家族の希望である。

事業	事業概要	事業内容と実績
ホームホスピスカあさんの家	<p>◎ご家族との交流</p>  <p>◎研修生の受け入れ</p> <p>団体数 9団体 研修生 合計85名 受け入れ延べ日数 136日</p>	<p>◆お誕生会 それぞれのお誕生会をご家族に積極的にかかわっていただくようにした。その時の様子を動画で残し、亡くなった後にDVDにしてご家族に差し上げた。在りし日の父親の笑顔に接することができ、遺族のケアになった。</p> <p>◆かあさんの家 お花見 期日：6月1日（土）10：30～14：20 会場：フローランテ宮崎 参加者： 46名 曾師 5名、霧島 3名、月見ヶ丘 3名 スタッフ23名・家族12名</p> <p>◆研修生の受け入れ 研修医や看護学生の研修や実習などを受け入れた。 本年度も引き続き神奈川県平塚共済病院からの研修医2年目のドクターを毎月1名、城山病院の地域医療研修の一環として受け入れた。また、宮崎大学医学部医学科2年生の研修が始まり、医学教育推進の一助を担うことができた。県庁職員の介護体験の受け入れの継続、さらには新しく九州保健福祉大学総合医療専門学校の看護学生3年60名が在宅医療の現場かあさんの家での生活援助体験をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平塚共済病院医師臨床研修医（城山病院より依頼） 5月～2月 【10名の医師】 ・宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座 7月18日 【3名】 7月19日 【2名】 ・宮崎大学医学部医学科2年学外早期体験実習 8月13日～8月16日 【2名】 8月19日～8月22日 【3名】 ・宮崎県職員研修（自治学院） 10月8日～10月11日 【6名】 ・九州保健福祉大学総合医療専門学校看護学生【55名】1日3時間

5) 医療・介護保険規定による事業

事業	事業概要	事業内容と実績
<p>① 訪問介護ステーションぱりおん</p>	<p>★管理者:甲斐昌江</p> <p>★サービス提供責任者: 薬師寺恵 甲斐昌江 荒川久美子</p> <p>★スタッフ:22名 (2020年3月31日現在)</p> <p><u>介護福祉士10名(育休1名)</u> 甲斐昌江、荒川久美子 薬師寺恵、堀美和子 川越和子(准看)、二宮淳 日高静佳(准看) 太田幸 里脇希実子、谷口愛子</p> <p><u>ヘルパー1級:1名</u> 久保野イツ子(看護師)</p> <p><u>ヘルパー2級:8名</u> 清水妙子、前田なつ 深井まゆみ、松本まゆみ 渡辺憲子、吉松東榮美 濱田美香(准看) 妹尾和美(准看)</p> <p><u>育休:1名</u> 谷口愛子</p> <p><u>正看護師:1名</u> 白波さおり</p> <p><u>夜勤アルバイト:2名</u> 渡辺恭子(准看) 濱川智仁(准看)</p>	<p>【内部研修】 ①毎月初めに主任会議(シフト会議) ②定例スタッフ研修(毎月、各家ごと) 6月:家族の会“かあさんの家”お花見の援助 8月:夏季反省会 12月:冬季反省会 1月:日常生活リハについて(理学療法士との調整ができず実施なし) 2月:防災訓練(新型コロナ感染防止のため実施なし) 3月:スタッフ面談</p> <p>【外部研修】(参加人数) 2019年6/15～16 ホームホスピス実践者育成塾総論 (東京都) (1) 6/21 特定処遇改善加算制度説明会(1) 9/13 第1回宮崎市集団指導(1) 2020年2/20 救命講習会(2)</p> <p>2、3月新型コロナウイルス感染防止のため、研修中止</p> <p style="text-align: right;">講座数:4回 延べ参加人数:5名</p>

事業	事業概要	事業内容と実績																																																																																																																						
② 訪問看護ステーション ぱりおん	<p>★所長：堤育子</p> <p>★常勤： 広瀬知佳、堀尾美恵子 笠原由紀乃 日隠由美子(理学療法士)</p> <p>★非常勤： 白波さおり、今東香奈 市原菜穂、岩切美樹 田山地利果(理学療法士) 武藤麻衣子(3月退職) 松浦百合絵ケイ(3月退職)</p> <p>★非常勤事務員： 奈須京子、立川美穂</p>	<p>事業内容と実績</p> <table border="1" data-bbox="639 264 1390 902"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>介護 件数</th> <th>医療 件数</th> <th>介護 予防</th> <th>在総診</th> <th>自費</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4</td><td>179</td><td>350</td><td>4</td><td></td><td></td><td>533</td></tr> <tr><td>5</td><td>141</td><td>416</td><td>4</td><td></td><td></td><td>561</td></tr> <tr><td>6</td><td>118</td><td>422</td><td></td><td></td><td></td><td>540</td></tr> <tr><td>7</td><td>136</td><td>432</td><td></td><td></td><td></td><td>568</td></tr> <tr><td>8</td><td>104</td><td>406</td><td></td><td></td><td></td><td>510</td></tr> <tr><td>9</td><td>101</td><td>401</td><td></td><td></td><td></td><td>502</td></tr> <tr><td>10</td><td>65</td><td>372</td><td></td><td></td><td></td><td>437</td></tr> <tr><td>11</td><td>59</td><td>362</td><td></td><td></td><td></td><td>421</td></tr> <tr><td>12</td><td>79</td><td>345</td><td></td><td></td><td></td><td>424</td></tr> <tr><td>1</td><td>81</td><td>340</td><td>8</td><td></td><td></td><td>429</td></tr> <tr><td>2</td><td>72</td><td>270</td><td>8</td><td>31</td><td></td><td>381</td></tr> <tr><td>3</td><td>88</td><td>370</td><td>18</td><td>35</td><td></td><td>511</td></tr> <tr><td>計</td><td>1233</td><td>4486</td><td>42</td><td>66</td><td></td><td>5817</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">延べ訪問回数 5,817 件</p> <p>利用者数(月別) 4月 47人 5月 49人 6月 50人 7月 53人 8月 47人 9月 45人 10月 35人 11月 38人 12月 41人 1月 46人 2月 41人 3月 46人 延べ人数 538人</p> <p>利用者病名</p> <div data-bbox="587 1189 1434 1776"> <p style="text-align: center;">疾患分布</p> <table border="1"> <caption>疾患分布データ</caption> <thead> <tr> <th>疾患名</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>癌末期</td><td>26%</td></tr> <tr><td>小児</td><td>17%</td></tr> <tr><td>慢性疾患</td><td>14%</td></tr> <tr><td>認知症</td><td>12%</td></tr> <tr><td>がん</td><td>6%</td></tr> <tr><td>難病</td><td>6%</td></tr> <tr><td>呼吸器疾患</td><td>6%</td></tr> <tr><td>骨筋肉疾患</td><td>1%</td></tr> <tr><td>精神</td><td>1%</td></tr> </tbody> </table> </div> <p>◎家族会の開催</p> <p>◆ぱりおん夏祭り 実施日：2019年 8/21 場 所：暮らしの保健室 参加人数：ご家族 28名、その他スタッフ</p> 	月	介護 件数	医療 件数	介護 予防	在総診	自費	計	4	179	350	4			533	5	141	416	4			561	6	118	422				540	7	136	432				568	8	104	406				510	9	101	401				502	10	65	372				437	11	59	362				421	12	79	345				424	1	81	340	8			429	2	72	270	8	31		381	3	88	370	18	35		511	計	1233	4486	42	66		5817	疾患名	割合	癌末期	26%	小児	17%	慢性疾患	14%	認知症	12%	がん	6%	難病	6%	呼吸器疾患	6%	骨筋肉疾患	1%	精神	1%
	月	介護 件数	医療 件数	介護 予防	在総診	自費	計																																																																																																																	
4	179	350	4			533																																																																																																																		
5	141	416	4			561																																																																																																																		
6	118	422				540																																																																																																																		
7	136	432				568																																																																																																																		
8	104	406				510																																																																																																																		
9	101	401				502																																																																																																																		
10	65	372				437																																																																																																																		
11	59	362				421																																																																																																																		
12	79	345				424																																																																																																																		
1	81	340	8			429																																																																																																																		
2	72	270	8	31		381																																																																																																																		
3	88	370	18	35		511																																																																																																																		
計	1233	4486	42	66		5817																																																																																																																		
疾患名	割合																																																																																																																							
癌末期	26%																																																																																																																							
小児	17%																																																																																																																							
慢性疾患	14%																																																																																																																							
認知症	12%																																																																																																																							
がん	6%																																																																																																																							
難病	6%																																																																																																																							
呼吸器疾患	6%																																																																																																																							
骨筋肉疾患	1%																																																																																																																							
精神	1%																																																																																																																							

事業	事業概要	事業内容と実績
<p style="text-align: center;">② 訪問看護ステーションぱりおん</p>	<p>◎外部研修参加</p>	<p>4月 事例検討会 褥瘡、フィジカルアセスメント(笠原) 採血・輸血・ルート固定(笠原)</p> <p>5月 医療安全、NST、在宅医会学術講演会 認知症薬剤(笠原) 活動と休息の援助 医療安全、輸液管理(笠原)</p> <p>6月 看護協会新人研修(笠原) 多職種交流研修(笠原、堤、日隠) 意思決定支援(事例検討会)、ホームホスピスとは(笠原) 看護協会新人研修、人体シュミレータ研修(笠原) がん 小児訪問看護、医療倫理(笠原)</p> <p>7月 新卒訪問看護師臨床実習、中央ブロック研修看護師研修(笠原)</p> <p>8月 心電図 二次救急処置、新卒訪問看護師臨床実習(笠原)</p> <p>9月 がんセミナー 病理学、気管内挿管時の看護、がんセミナー、緩和医療サイコオンコロジー、がんセミナー、緩和医療サイコオンコロジー(笠原)、日本医療マネジメント学会(笠原、堤)</p> <p>10月 在宅医会研修(笠原)</p> <p>11月 終末期看護とエンゼルケア、看護連盟支部研修(笠原) 緩和ケア研修(広瀬)、認知症看護、ホームホスピス宮崎全国合同研修会(笠原)</p> <p>12月 ホームホスピス宮崎全国合同研修会、全国訪問看護サミット(笠原)、看護職起業家交流セミナー(堤)、地域連携、褥瘡ケア(笠原)</p> <p>1月 意思決定支援(笠原、堤)</p> <p>2月 糖尿病看護、事例検討会 小児(笠原)、管理者研修(堤) 精神科訪問看護(笠原、堤、日隠)、新卒訪問看護師臨床実習(笠原)</p>
	<p>◎講師派遣</p>	<p>◆堤 育子 宮崎看護専門学校医療専門課程 宮崎大学医学部看護学科 医療マネジメント学会シンポジスト 看護協会セカンドレベル 日南看護専門学校 人体シュミレータ研修</p> <p>◆白波さおり 宮崎看護専門学校医療専門課程 日南看護専門学校</p>
	<p>◎実習受け入れ</p>	<p>日南看護専門学校 4名 宮崎看護専門学校医療専門課程 10名 宮崎大学医学部看護科 4名 九州保健福祉大学 4名 宮崎県看護協会小児訪問看護実習 1名 宮崎県看護協会セカンドレベル実習 1名 宮崎県看護協会退院支援実習 1名</p>

6) たちばな在宅総合支援ハウス事業 (街ん中ごちゃまぜプロジェクト)

【メンバー】

桐ヶ谷大淳、吉村学、黒岩雄二、堤育子、市原美穂、久保野イツ子、萩原尉子、川添英司、上田理加、岡元俊雄、宇都仁恵、日隠由美子、黒木智子、岡田瑞穂、広瀬知佳

【会議】

開催日 (参加人数)・・・5/8 (8)、5/15 (10)、5/22 (8)、6/6 (6)、6/20 (6)、10/31 (6)
11/7(5)、12/5 (5)、12/26 (6)、1/9 (8)、1/30 (6)

【視察・出張】

10月6日

研修先：第1回伊豆思春期研究会 伊東フォーラム

参加者：堤

視察内容：養育困難な子どもへの育児支援の現状と課題

～幼児期・学童期・思春期に向けての対応を考える～

宮崎日日新聞

THE MIYANICHI

2019年(令和元年) 6月18日(火)

第28185号(日刊)

発行所 宮崎日日新聞社
宮崎県宮崎市東下町1丁目1番13号
電話0985-821001
FAX0985-821002
http://www.line-miyazichi.co.jp/

第6部 ともに生きる明日へ

「街中」に交流の場を

養育困難な子どもへの支援を必要とする親を支援する。その一環として、宮崎県宮崎市で、医療的ケア児の交流の場を設けた。子どもと保護者の交流の場を設けた。子どもと保護者の交流の場を設けた。子どもと保護者の交流の場を設けた。

医療的ケア児の交流の場を設けた。子どもと保護者の交流の場を設けた。子どもと保護者の交流の場を設けた。子どもと保護者の交流の場を設けた。

医療的ケア児の交流の場を設けた。子どもと保護者の交流の場を設けた。子どもと保護者の交流の場を設けた。子どもと保護者の交流の場を設けた。

「街中」に交流の場を

養育困難な子どもへの支援を必要とする親を支援する。その一環として、宮崎県宮崎市で、医療的ケア児の交流の場を設けた。子どもと保護者の交流の場を設けた。子どもと保護者の交流の場を設けた。子どもと保護者の交流の場を設けた。

医療的ケア児の交流の場を設けた。子どもと保護者の交流の場を設けた。子どもと保護者の交流の場を設けた。子どもと保護者の交流の場を設けた。

医療的ケア児の交流の場を設けた。子どもと保護者の交流の場を設けた。子どもと保護者の交流の場を設けた。子どもと保護者の交流の場を設けた。



医療的ケア児の交流の場を設けた。子どもと保護者の交流の場を設けた。子どもと保護者の交流の場を設けた。子どもと保護者の交流の場を設けた。

7) ホームホスピス推進研修センター事業

事業	事業概要	事業内容と実績
<p>① 日本財団・在宅ホスピス実践リーダー養成研修</p>	<p>日本財団 ホームホスピス 実践リーダー養成研修 研担当： 久保野イツ子</p> 	<p>【目的】 看取りを含む質の高い在宅ホスピスケアを行う専門職の養成</p> <p>【内容】 研修受け入れ機関として、ホームホスピスカあさんの家において、現場中心のホスピスケア・看取りの実地研修を6か月間にわたり行う。</p> <p>【研修者】 看護師・介護福祉士・ケアマネジャーなどの専門職であること。</p> <p>【支援内容】 ・研修生の生活費補助（無給の場合）と受け入れ機関の研修費用が助成される。原則として研修者1名あたり45万円/月</p> <p>☆山下 初枝 (鹿児島県鹿児島市) 2019年10/1～2020年3月</p> <p>☆今村 順子 神戸なごみの家研修生（兵庫県姫路市） 2019年9/20～10/4</p> <p>☆松尾 春花 神戸なごみの家研修生（東京都足立区） 2020年1/22～1/24</p>
<p>② ホームホスピススキルアップ研修</p>	<p>全国のホームホスピスから研修生の受け入れ *全国ホームホスピス協会より委託</p>	<p>7/24 フローラファミリー(千葉県) 8/19～9/20 ほしぞら(福島県) 9/4～5 晴れる家(埼玉県) 9/9～11 われもこう(熊本県) 10/24～24 ふさの家(大阪府) 11/2～10 わこの家(福岡県)</p>  <p>フローラファミリー事務研修</p>

事業	事業概要	事業内容と実績
③ 一般社団法人全国ホームホスピス協会の事務局運営	<p>事務局体制</p> <p>理事長：市原美穂 事務局長：黒岩雄二 事務局：岡田瑞穂 岩切知峰 書記：古野たづ子</p> <p>理事会：</p> <p>理事： 市原美穂 松本京子 竹熊千晶 樋口千恵子 高橋紘士 園田眞理子(～11月) 金居久美子</p> <p>監事： 岡本峰子</p>	<p>一般社団法人全国ホームホスピス協会事務局業務委託</p> <p>【業務内容と実績】</p> <p>① 会員管理 正会員 43・準会員 3</p> <p>② 理事会の開催 2019年 4/20(兵庫県)、6/15(東京都)、7/10(兵庫県) 9/21(東京都)、10/19(東京都)、11/29(広島県) 12/24(福岡県)、3/11(WEB) <u>計 8回</u> ・理事会の資料作成、旅費の支払い各理事との連絡などの業務。</p> <p>③ 定期総会 期日：2019年 11月 30日 会場：広島市国際会議場 ・総会の運営、資料作成</p> <p>④ ホームホスピスの認定業務 (現認定 10法人)</p> <p>⑤ 認定審査業務 (レビュー)</p> <p>⑥ 実践リーダーリーダー研修の手続き業務</p> <p>⑦ 全国のホームホスピスの運営に関する相談</p> <p>⑧ 拠点整備団体の推薦協会主催の研修会の運営</p> <p>《第3回ホームホスピス実践者育成塾》の開催 総論：2019年 6月 15日、16日 (東京都) 各論：2019年 7月 8、9、10日 (三重県)</p> <p>《全国合同研修会の開催》 期日：2019年 11月 30、12月 1日 会場：広島市国際会議場(広島県)</p> <p>⑨ ホームページ運営・ニュースレター (たんぼぼ) の発行</p> <p>⑩ 全国の支部活動の支援</p> <p>⑪ 新しく開設されたホームホスピスへの支援</p> <p>⑫ 助成金の申請他、ホームホスピスの運営に関する資料作成などの業務</p> <p>【今期の成果物】</p> <p>・ニュースレター (たんぼぼ 3号) ・事業報告書</p>

8) 情報・広報

① ニュース発行及びパンフレット

- ・ニュースレター 2019年6月発行…25号
2020年1月発行…26号
- ・暮らしの保健室だより 毎月発行（12回）
- ・ブログ（ぱりおん） <https://blog.canpan.info/hhmiyazaki/>
- ・Facebook <https://www.facebook.com/homehospice.miyazaki/>
- ・ホームページ <http://www.npo-hhm.jp/>

マスコミなどの紹介

≪ 雑誌などの掲載の雑誌名 ≫

- 2019年 5月号 潮
 2019年 6月号 潮
 2019年 6月 コミュニティケア「暮らしの保健室」のはじめかた

≪ 新聞の掲載 ≫

- 2019年 6/14 神戸新聞
 6/15 神戸新聞
 6/16 神戸新聞
 6/18 宮崎日日新聞

② 講師派遣

月	日	曜	講 演		I 市原 T 堤、S白波
5月	19	土	小林熟中小学校	小林市	I
	22	水	宮崎看護専門学校医療専門課程	宮崎市	T
6月	5	水	曹洞宗九州管区研修会	福岡県	I
	27	木	潤和会記念病院職員研修会	宮崎市	I
	28	金	宮崎大学医学部看護学科	宮崎市	T
7月	20	土	東日本支部研修会(全国ホームホスピス協会)	福島県	I
	27	土	下南方自治公民館	宮崎市	I
8月	5	日	熊本県立大学同窓会講演	熊本県	I
	23	金	徳島あわホームホスピス開設記念講演(全国ホームホスピス協会)	徳島県	I
	24	土	美馬市(全国ホームホスピス協会)	徳島県	I
	27	火	宮崎県人権研修会	小林市	I
	30	金	全国済生会病院院長大会	宮崎市	I

月	日	曜	講 演		I 市原 T 堤、S白波
9 月	6	金	宮崎看護専門学校医療専門課程	宮崎市	S
	12	木	恒久自治会	宮崎市	I
	15	日	札幌市立大学	北海道	I
	21	土	湘南スタイル在宅医療(おおふなクリニック)	神奈川県	I
	21	土	医療マネジメント学会シンポジスト	宮崎市	T
	23	月	台東州・東蘭市まちづくり講演(全国ホームホスピス協会)	台湾	I
	26	木	台湾「康健」シルバー経済フォーラム(リージェント台北) 国会議員へのレクチャ(台湾立法院)(全国ホームホスピス協会)	台湾	I
10 月	2	水	日南看護専門学校	日南市	S
	4	金	看護協会セカンドレベル	宮崎市	T
	21	月	花ヶ島さんさんクラブ	宮崎市	I
	24	木	えびの市人権研修会	えびの市	I
11 月	1	金	日南看護専門学校	日南市	T
	5	火	宮崎県立看護大学・死生学	宮崎市	I
	10	日	人体シュミレータ研修	宮崎市	T
	23	土	会津熱中塾	福島県	I
	24	日	会津熱中塾	福島県	I
12 月	26	木	宮崎大学看護学部(原田菜穂子先生)	宮崎市	I
1 月	16	木	県立飯野高校全校生徒研修会	えびの市	I
	23	木	みやざきNPO協働支援センター研修会	宮崎市	I
2 月	8	土	和歌山県田辺市ケアマネ協議会研修会	和歌山県	I
	16	日	西日本支部研修会(全国ホームホスピス協会)	愛知県	I
合 計					33



花ヶ島自治会さんさんクラブ



台湾 立法院(国会議員)

見学者の受け入れ

月	日	曜	見学者名		人数
4月	15	日	日本財団	東京都	3
	17	水	塚元	鹿児島・小林	2
5月	22	水	山中(エデンの園)		2
6月	2	日	九州大学 あだち	福岡県	1
8月	5	月	(株)リバティ	神奈川県	3
			田中	神奈川県	2
	21	水	吉岡	延岡市	7
	28	水	鎌倉市長 他	神奈川県	6
9月	1	日	岩田	山口市	5
	11	水	細川	青森県	2
	12	木	恒久自治会	宮崎市	25
10月	7	月	日高		1
	21	月	ながしま	埼玉県	2
11月	6	水	さくら苑		5
	15	金	シルバー総合研究所	埼玉県	1
	16	土	ちひろ医院	長崎県	2
1月	8	水	岡本(おかもと自然薯農園)	都城市	1
合 計			17団体	人数	70

9)組織運営

①理事会・定期総会

・理事会

場所：暮らしの保健室

日時：

第1回 2019年(令和元年)5月20日19時

- ・定期総会の議案について
- ・新理事の就任について

臨時 2019年(令和元年)7月16日18時

- ・平成31年度 夏期・冬期賞与について

臨時 2020年(令和2年)1月17日11時半

- ・理事長の選任について

第2回 2020年(令和2年)2月14日15時

- ・来年度のベースアップについて
- ・働き方改革に伴う注意点について
- ・労務、会計業務の外部委託拡張について

第3回 2020年(令和2年)3月31日19時

- ・令和2年度 事業計画案・予算案について

・定期総会

定時総会 2019年(令和元年)5月25日(土)午後13時半から15時
暮らしの保健室

正会員総数20名のうち 総会出席会員数8名(うち委任出席11名)

議長：吉村照代 議事録署名人：黒岩雄二、久保野イツ子

1. 2018年度(平成30年度)事業報告・収支報告
2. 監査報告：吉村一隆
3. 役員選出

報告事項…2019年度事業計画・予算

・会員(2020年3月31日現在)

正会員17名 賛助会員59名 団体賛助会員3団体

・寄付者

46名(団体も含む)

②事務局

事務局会議…開催日：日にちの設定はしていないが、その都度打ち合わせを行ってきた。

参加者：市原美穂、久保野イツ子、黒岩雄二、甲斐昌江、立川志乃、岡田瑞穂、久保野郁美、堤育子、舟井美穂

《事務局体制》 岡田瑞穂、久保野郁美、舟井美穂